考える　悩む　集中する　ひらめく　味わう

知的に活発なグノ空間から
「知の力」が伸びる!

最新の傾向を踏まえた良質の問題に触れる

グノーブルの筑駒中算数特訓

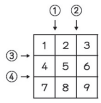
1　数字の書いてある同じ大きさの正方形のカードを何枚かつなぎます。それを机の上に置き、１のカードを動かさないようにして、他のカードを上へ折り重ねていきます。つないだところ以外は、カードを曲げたり、折ったりできません。また、一度折ったところは開かないことにします。例えば、右の（図１）のようにつなぎ、①，②の順に折るとカードは上から順に３ → ４ → ２ → １となります。

（図１）

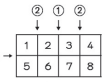
（1）　次のそれぞれの場合について、カードの番号を上から順に答えなさい。

（ア）　右の（図２）のように９枚のカードをつなぎ、①，②，③，④の順に折るとき。

（イ）　右の（図３）のように８枚のカードをつなぎ、①，②，③の順に折るとき。



（図２）

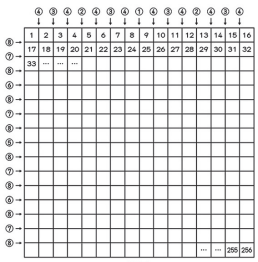


（図３）

（3）　下の（図５）のように256枚のカードをつなぎ、①，②，③，④，⑤，⑥，⑦，⑧の順に折ります。

（ア）　上から２枚目にくるカードは何番ですか。

（イ）　上から17枚目にくるカードは何番ですか。



（図５）

筑駒中の算数の
オリジナルテキストより

6年生対象　**「筑駒中の算数特訓」**
自由が丘校・成城学園校で開講（週1回80分授業）
詳細は
ホームページまで

筑駒中入試における「テーマ」

筑駒中算数では決して易しくはない大問４題を40分間で処理することが求められます（この形式は1990年以降一貫しています）。このため一般的な対策としては、処理スピードを身につける、解く順番を考える、解く問題を正しく取捨選択する、といったテストへの対応力を高めることがあげられます。

さらに、受験生の**「作業や試行から分析して解き進め、一般化していく力」**を試すことが同校の長年のテーマとなっています。受験本番で脳をフル回転させてそのような問題を解くためには、筑駒入試に匹敵した良質の問題で徹底的に調べる、規則をとらえる、といった訓練を積むことが必要不可欠です。

近年の出題傾向

また、近年目立つのは一昔前と比べて、**「調べ上げる」という要素が強まっている点**です。2017年には鏡像異性体を同じものとして数える点に注意が必要な出題が、2014年には対戦表を題材とした勝ち点の重複に注意すべき出題がありました。いずれも難度が高く、丁寧かつ正確に調べ上げる力が必要です。

筑駒中入試には首都圏の最も優秀な受験生が集まります。合格の可能性を高めるためには、**最新の出題傾向を踏まえた良質の問題に数多く触れ、それらの問題に対し演習を積み上げていくことが最も大切**です。

1~6年生　**入室テスト・説明会　10/25（日）**　9:00~ 13:00~　要予約・無料
※平日の説明会もございます。
※入室テスト・説明会の詳細についてはホームページをご覧ください。

中学受験 グノーブル　2020年合格実績　7期生 在籍404名

最難関中 229名合格　開成中11名　桜蔭中12名　麻布中19名　女子学院中10名

武蔵中	9名	灘中	4名	慶應義塾（普7/中8/湘3）	18名	渋谷教育学園渋谷中	18名
駒場東邦中	11名	雙葉中	4名	早稲田（早稲田10/早大学院4/早実2）	16名	渋谷教育学園幕張中	28名（うち特別特待 6名）
栄光学園中	17名	フェリス女学院中	2名	筑波大学附属駒場中	10名		
聖光学院中	14名	豊島岡女子学園中	20名	筑波大学附属中	6名		

その他の合格校はホームページまで!

大学受験 グノーブル　2020年合格実績 14期生 在籍786名

東大 147名
慶應・早稲田・上智 906名
国公立医＋慶医 86名

〈国公立大医〉東大（理Ⅲ）5名、京大（医）1名、東京医科歯科大（医）7名、東北大（医）2名、千葉大（医）6名、横浜市立大（医）9名、筑波大（医）4名他　※計67名
〈私立大医〉慶應大（医）19名、東京慈恵医大（医）30名、順天堂大（医）34名、日本医大（医）34名、昭和大（医）27名、国際医療福祉大（医）21名他　※計265名

京大15名、一橋大32名、東工大20名、東外大13名、他多数
慶應大347名、早稲田大403名、上智大156名　合格

Gnoble
中学受験 グノーブル

お茶の水・吉祥寺・自由が丘・白金高輪・巣鴨・成城学園・東京（東日本橋）・たまプラーザ・武蔵小杉・横浜・西船橋

お問い合わせはホームページからどうぞ
www.gno-jr.com　中学受験グノーブル　検索

グノーブルグループ
Gnoble 大学受験 グノーブル　GnoLink 個別指導 グノリンク　GnoKids 英会話 グノキッズ

知の力を活かせる人に　Gnoble GROUP